

次期西東京市教育計画（令和6～10年度）に向けたこれまでの意見の整理

現計画	懇談会からの意見（要点）	次期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過について（報告）（案）【概要】（令和5年1月13日資料より引用） ※西東京市の教育計画に関連が深いと考えられるもののみ掲載
基本方針・方向	<p>1 次世代を担う子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「創造的に生き抜いていく子ども」の姿（アクティブラーニング）が必要である。 ・学校の中でも学校の外でも「主体性」を持つことが必要である。 ・将来のキャリアを考えることに重きを置くだけでなく、自分で決めた目標を1つ1つ達成していけるようキャリア・パスポートを活用して欲しい。 <p>2 誰一人取り残さず、一人ひとりの可能性を引き出す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が人としてより良く生きることができると感じられるように自分で行動を創って行く教育が学級の違いを問わず全ての子どもにも必要である。 ・インクルーシブな社会（多様性）をどのように作って行くかが課題である。 ・文系、理系の知識を学習し、融合できるような教育（文理横断・文理融合教育の推進）が必要である。 ・答えのないものを考えて、コストをかけて、人を動かし、結果を結びつけるには様々な問題や責任が生じる。そういった発想をもって課題を解決していく力が必要になる。これからの教育は、こういった発想をもてることが必要である。 ・「マルチメディアダイジー」や「デジタル教科書」などについては、全員で使っていくことで、必要とする人が気兼ねなく自由に活用できる環境になればよい。 ・経済格差により家庭内だけでは子どもを上手く育てることが難しい社会環境がある。 ・不登校の児童・生徒のオンラインの必要性も実感しつつも、実体験をどう体験していくかの大切さもある。 ・子どもの教育的ニーズはそれぞれ違う。 <p>3 リアルとデジタルの調和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の基本は人から学ぶということを忘れないように敢えて文言に加えるべき。いろいろな体験をしたりする機会が非常に減っている。 ・横文字やデジタルだけでなく、これまで築き上げられてきた西東京市の教育の良さを再度見直し、デジタルの意義を考えながら、リアルとデジタルの調和を考えるべきである。 ・紙の情報をそのままデジタル化するのではなく「デジタルに特化した考える力を育てること」が必要になる。 ・感染症完治後の自宅待機期間などに利用できるような、柔軟なオンライン授業も必要ではないか。 ・ネットの中毒性や負の情報を簡単に入手できる環境、SNSで簡単に拡散されるデジタルの怖さにも注目し、子どもたちの育成を考えて行くべき。 ・小学1年生からネット社会に入るという傾向がある。「幼児期からつながる生きる力」を見ていかないと、学校だけではどうすることもできないと思う。 ・子どもたちが幼児期から自然と触れ合ったり、いろいろな体験をしたりする機会が非常に減っている。 ・乳幼児期の成長には人と人との繋がりが最も重要で、人からしか学べないこと、直接のふれあいからしか学べないことがある。 	<p>1. 確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 ○学習指導要領の実施○学修者本位の教育の推進 ○文理横断・文理融合教育の推進 <p>2. 豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育の推進○いじめ等への対応、人権教育の推進 ○体験活動の充実○読書活動の充実 ○伝統や文化等に関する教育の推進○文化芸術活動の充実 <p>3. 健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校保健、学校給食・食育の充実 ○生活習慣の確立、学校体育の充実・高度化 ○運動部活動改革の推進と地域スポーツ環境の一体的な整備 ○アスリートの発掘・育成支援 <p>4. グローバル社会における人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国語教育の充実 <p>5. イノベーションを担う人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○探究・STEAM教育の充実 ○起業家教育（アントレプレナーシップ教育）の推進 <p>6. 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供の意見表明○主権者教育の推進○消費者教育の推進 ○持続可能な開発のための教育（ESD）の推進 ○男女共同参画の推進 <p>7. 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の推進○不登校児童生徒への支援の推進 ○日本で学ぶ外国人等への教育 ○特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援 <p>1 1. 教育DXの推進・デジタル人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1人1台端末の活用○児童生徒の情報活用能力の育成 ○教師の指導力向上○校務DXの推進 ○教育データ分析・利活用○デジタル人材育成の推進 <p>1 2. 指導体制・ICT環境の整備、教育研究基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導体制の整備○学校における働き方改革の更なる推進 ○ICT環境の充実○教師の資質能力の向上 ○教育研究の質向上に向けた基盤の確立

現計画	懇談会からの意見（要点）	次期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過について（報告）（案）【概要】（令和5年1月13日資料より引用） ※西東京市の教育計画に関連が深いと考えられるもののみ掲載
基本方針・方向		
基本方針2 子どもの「心の健康」の育成に向けて 【方向】 1 相談・支援の充実 2 学校における教育支援体制の充実 3 学校を支える多様な教育資源の充実	1 スクールカウンセラーをはじめとする学校の校内体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーに相談しやすい環境が整うとよいと思う（カウンセラーは、できれば毎日いて欲しい。）。 ・コーディネーターになっている教員やスクールカウンセラーが力を発揮できるように組織的な対応をより強化する必要がある。 	7. 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂（再掲）
基本方針3 持続可能な社会の創り手を育むための教育環境の充実に向けて 【方向】 1 時代の変化に対応した学習環境等の整備 2 学校経営改革の推進 3 学校を核とした地域づくりの推進 4 家庭における教育力の向上	1 就学前機関との切れ目ない支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の情報がうまく小学校に伝えられることが重要だと思う。連携に当たっては就学前機関の負担も考えるべきである。小学校の先生は、もっと就学前機関のことに関心を持って欲しい。 2 学校の働き方改革 <ul style="list-style-type: none"> ・今の西東京市の教育は良さを活かしつつ、スクラップアンドビルドで働き方改革も必要である。 3 地域とともにある新しい学校の姿 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の大人たちによる子どもへの関わりはとても重要である。 ・家族の繋がりが希薄な社会において地域内で直接人と人が触れ合う機会を設けることや地元に関心を持ってもらえるようにすることこそ利便性重視の社会には重要である。 ・各校がコミュニティ・スクールに移行すると思うが、どのような構想でコミュニティづくりをし、地域と子どもたちが関わるのかについて、明確なビジョンを示す必要がある。 ・放課後子供教室は運営者の力が重要であるため、学校が目指すコミュニティをどのような地域に想定して行くのかを考えながら今後の事業展開を図るべきである。 ・学びでの繋がりが地域コミュニティを作るうえで極めて重要である。 	8. 生涯学び、活躍できる環境整備 ○大学等と産業界の連携等によるリカレント教育の充実 ○働きながら学べる環境整備○高齢者の生涯学習の推進 ○生涯を通じた文化芸術活動の推進 9. 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上 ○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ○家庭教育支援の充実○部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行 1 1. 教育DXの推進・デジタル人材の育成（再掲）
基本方針4 「学び」を身近に感じ「学び」を実践できる社会の実現に向けて 【方向】 1 多様な学びをつなぐ生涯学習の振興 2 誰もが学習に参加できる機会の充実 3 「学び」が実践できる地域の学習資源の活用	1 リアルとデジタルを融合した社会教育 <ul style="list-style-type: none"> ・西東京市には非常に豊かな学びの蓄積がある。社会教育を強く意識した西東京市の過去の学びの蓄積を発展させることが必要である。デジタルとリアルの両輪を考えることが大切になる。 ・公共施設でのフリーWi-Fiの設置、ネットを通じた講演会の配信など「市民の学び」をデジタルと融合してはどうか 2 誰もが学習に参加できる環境 <ul style="list-style-type: none"> ・公民館に足を運べないが、講座に参加したいなど様々なニーズがある中で、全市民を対象にした学びの場を保障して行く必要がある。 ・乳幼児期や中学校卒業後など義務教育期間以外の時期でもインクルーシブ教育を踏まえて社会教育、生涯教育が必要である。 ・地域住民や子育て世代、子どもたちが改めて西東京市の良さ、西東京らしさを再認識できるような具体的な取組が必要である。 3 関係機関との連携した社会教育 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習教育の視点からも学校を核に、子どもを中心にする政策を、公民館、図書館等の社会教育施設が一体となって進めると、連携が強まっていくと思う。 	1 0. 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進 ○社会教育施設の機能強化○社会教育人材の養成・活躍機会拡充 ○地域課題の解決に向けた関係施設・施策との連携 1 3. 経済的状況、地理的条件によらない質の高い学びの確保 ○教育費負担の軽減に向けた経済的支援 1 4. NPO・企業・地域団体等との連携・協働 ○NPOとの連携○企業との連携○スポーツ・文化芸術団体との連携 ○医療・保健機関との連携○福祉機関との連携○警察・司法との連携 1 5. 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、児童生徒等の安全確保 ○学校施設の整備○学校における教材等の充実 ○学校安全の推進 1 6. 各ステークホルダーとの対話を通じた計画策定・フォローアップ